

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	百貨店（店長）	・乗客数の大幅な増加が続くと、運動して売上の大幅な増加につながる傾向にある。取引先各社もこの状況を見据え、従来以上の集客策、売上策を実行していくと推察している。
	◎	都市型ホテル（総支配人）	・2月中旬から3月以降は、インバウンドや各種スポーツ団体等が動き出し、ある程度の売上や稼働が見込まれる。
	◎	旅行代理店（従業員）	・販売量や単価を含め、非常に動きが良い。海外旅行案件もかなり多くなっている。
	○	百貨店（営業担当）	・食品エリアの好調に伴う来客数の増加で、ファッション関連の婦人服や化粧品を中心に、買い回りの促進傾向がみられ、売上も回復傾向である。
	○	百貨店（店長）	・売上は前年実績を超えて推移しており、新型コロナウイルス感染症発生前の2018年比でもマイナス5%未満と、回復傾向にある。
	○	コンビニ（店長）	・春になってきて、卒入学式等で客が増えてくる。
	○	衣料品専門店（統括）	・年末年始を過ぎると、客の購買意欲が大分落ちる。また、3～4月にかけて暖かくなると、祭り等も活発に開催され、それにつれて販売量も増えてくる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、普通車の生産ラインの稼働率が新型コロナウイルス感染症発生前並みのフル稼働になっている。したがって、客から受注が入ってからの納期は1～2か月後までに短縮されている。
	○	乗用車販売店（従業員）	・受注が多くなり、受注残も増えてきている。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・最近の低迷は季節的なものだが、いまだ新型コロナウイルス感染症の収束以降の回復途中とみられる。イベント等も変更や中止もなく行われている。能登半島地震からの復興とともに景気が回復することを祈念する。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・歓送迎会の時期なので、若干の期待はしている。ただし、現時点での問合せや予約はまだない。
	○	一般レストラン（経営者）	・春になるとイベントも増え、たとえ不景気だったとしても、街に人が出てくるので、来客数は増えるはずである。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・飲食業だが、前年12月に値上げをし、新しい価格が大体浸透してきて客もそれなりに増えている。このところ各メーカーから、3月頃から各種仕入商材の値下げの話が出ている。大きいものでは、油等が値下げの方向にあるため、当社も原価を抑えることができ、その分客へのサービスができる。売上自体は増えていくだろうし、株価の調子も良いということで、やや良くなる。
	○	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・給食部門では、新年度からの新規受託に向けて、営業開拓を進めている。社員食堂の新規受託等は増加が見込まれる。ただし、賃金格差や人材確保が重しとなり、労働集約型産業にとっては、厳しい状況となっている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・来月からは梅祭り等もあり、宿泊部門の稼働率や単価、宴会部門の歓送迎会、総会等の受注、いずれも前年を上回っている。
	○	旅行代理店（経営者）	・春先から、コロナ禍明けで少しずつ受注が増え始めたことがプラス要因で、物価高で旅行自体を実施するか否かを考え始める客が出てきたことがマイナス要因である。プラス、マイナスで考えると少しプラスではないか。
	○	旅行代理店（所長）	・株価上昇もあり、春に向けて国内旅行客、インバウンド共に増加が期待できる。地元のイベント等も新型コロナウイルス感染症発生前の状況に戻ってきている。
○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響によるマイナス要因が減少し、少しずつ良くなる。	
○	ゴルフ場（従業員）	・天候が良くなるため、ゴルファーは戻ってくる。どこまで持続するかについては心配である。	
○	美容室（経営者）	・国が新NISAを推進しているが、富裕層が税金を免れ貧富の差がますます開くばかりで、低所得者層への恩恵は薄い。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・イベントや行事が再開されてきているが、にぎわいはそのときだけで、後は少し寂しい感じである。これでは先の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前年から、売上が新型コロナウイルス感染症発生前に匹敵する月が続いており、この傾向は今後も継続するとみている。周辺の同業者も同様の見解である。人手不足と海外情勢の不安定さが、引き続きの懸案事項で、能登半島地震や国内外で起きている航空機関連の事故等も不安要素である。観光のような娯楽にお金を費やすことへの自粛ムードが高まるのではないかと。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・当地では今はイベントがないので、変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・人流は引き続き拡大するとみられる一方で、慎重な消費行動は継続する。地方都市ではインバウンドや賃上げといった消費拡大に向けた要因はほぼなく、景況は現状維持が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・改善される要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品部担当）	・悪い現状を維持するのが精一杯である。仕掛けをし続けているものの、良くなる要素が1つもない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・店舗前の道路工事は3月で一段落し、少しの休みを経て再開予定である。しばらくは交通量の減少が続くため、来客数が減少し、売上に影響するとみている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・能登半島地震の復興支援が1日も早くできることを期待している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・良くなる話も悪くなる話も聞かない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・特に、良いも悪いも材料がないので、変わらない。ただし、何か悪いこと、良くないことがあるとデリケートに反応がある。株価が良くても、今は余り良い傾向にはなっていない。ここ数年、何かネガティブな話があったりすると、すぐに失速してしまう。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	・値上げの影響で必需品についても買い控えが続いている。1円でも安く買おうという客の姿勢が見受けられる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店（総務担当）	・客からの見積依頼件数が減少している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・良くなる見通しがなく、皆できるだけ節約しながら生活している。賃金が上がらない限りは良くならない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（スタッフ）	・今月は新年会等で宴会場の稼働率も良く、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に近づいてきている。年明けから2～3月もコンスタントに受注できている。宿泊はビジネス利用がメインのため、今月中旬までは低調に推移していたが、下旬に入ってから稼働率も戻りつつある。ただし、動き出しが鈍いため、2～3月の予約はまだ芳しくない。コロナ禍では宿泊が下支えしていたが、現在は宴会売上が基盤となって支えている。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・春の行楽シーズンを迎えるが、4月以降の値上げの動きを受けて、どのように客の動きが変わるか読めない。
<input type="checkbox"/>	タクシー（経営者）	・夜の動きが良くないため、この先も変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・業界大手による越境営業が続くことで、今後2～3か月程度で状況は変わらないと思うが、中期的な視点では、特に中小規模の同業者の業績悪化が懸念される。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・賃上げ等の給与所得に関する好材料があれば、景気は良くなる可能性がある。ただし、実施されたとしても大手企業の一部にとどまると思われるため、効果が期待できない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（局長）	・物価高はこのまま高止まりの状態でも推移していくが、上昇分に見合う給料の増加はすぐには見込めない。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・株高が過去にない数値で推移しているが、円安は相変わらずで国内消費が増えない。また、給料や高齢者の年金給付額が物価上昇に追いついていないことは変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・コロナ禍で冷え込んだ景気は少し上昇してきている。ただし、様々な物の価格高騰の影響で、極端に上がることはない。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・当市では来年度から小学校の統廃合に着手することになり、取引のある小学校が閉校になるため、今後の動きを注視したい。

	▲	コンビニ（店長）	・プレミアム付商品券の使用期限が1月31日までであるため、今月末は商品券の駆け込み利用があった。その影響が先行きにマイナスに出る。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	・年度末から年度初めにかけて、春に向かって若干暖かくなってくれば、人の動きが良くなるのではないかという希望的観測はある。ただし、今の状況で購買意欲を上げさせるような雰囲気づくりは難しい。今後は1つつつ、細かいことでも、客と接点ができるような方法を掘り起こしていくしかない。
	▲	住関連専門店（仕入担当）	・これまでは来客数、買上点数の減少を値上げによる単価上昇分でカバーし、売上を維持してきたが、今後はそれも一巡し、厳しさは増してくると予想している。
	▲	都市型ホテル（経営者）	・インフルエンザの流行による外出控えが、外食産業に少なからず影響を及ぼすのではないか。
	▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症も第10波に入ったようで、また、外での飲食控えが増えて、夜が静かになりそうである。
	▲	通信会社（総務担当）	・例年3月後半から、販売量が減少する傾向にあるため、やや悪くなる。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・自動車整備に限定すれば、人手不足が離職につながる悪循環の状況である。当社もここ1年半で、28名から21名に減員となっている。1店舗を休店して、2店舗を何とか支えている。完全予約制を導入し休日を増やす等、更なる離職を防ぐ方針を採り入れている。こうした状態はいずれの職種も同じようで、景気の回復は遠い。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・倒産件数が増えるなか、同業者の廃業も目立ってきて、業界自体のイメージが悪くなっている。
	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・建築費用の高騰により、銀行融資額が足りず、客の希望する内容が実現できないために計画が見送りになるケースが増えつつある。所得の増加が待たれる。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・物価高に実質賃金が追い付いていない。客が何を買い控えるかといえば、やはり家電は後回しになってしまう。景気としては悪くなる一方である。
	×	家電量販店（店員）	・春闘で大幅な賃上げが実施され、消費行動に影響が出れば、良くなるのであろうか。
	×	乗用車販売店（経営者）	・勤労意欲が低下したままの状態のため、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・高齢者が多い地方では、良くて横ばいである。当地の人口減少と同様に顧客も減少していくので、先行きは暗い。物価高の現状では、目先の売上も期待できない。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・前年より天候が良く暖かい日が続くと思うので、商材が早めに出ている。今後もこの傾向は続くとみている。
	○	金属製品製造業（経営者）	・取引先の生産計画によると、先行きはやや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束し、世の中が動き始めている。ただし、本格的に動き始めるのは、4月以降ではないかと予想している。今よりも少し良くなるという印象を受けている。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注量が増加しており、収益の改善が見込まれる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・当面は、現状維持で推移していくものとみられる。
	□	金属製品製造業（経営者）	・得意先の様子も変動があり、いざ注文が入るかと思うと取消しというようなこともある。将来のことは本当に分からず困っている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・今月の受注額も、目標数値に近い状態で安定している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先全ての業種が低迷しているため、景気は悪いままで変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・中国経済は不動産不況が気になるが、現在では中国向け製品の生産も変わりはなく、影響は特にみられない。
□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月まるで変化がなく、今後についても取引先、競争相手等から良くなるという話は聞いていないため、しばらくは変化のない状況が続く。	

	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・円安等もいまだに続いているため、変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	・新年度を迎えるに当たり、新生活用品、白物家電や生活雑貨、引越し依頼等は前年並みの輸送を確保予定である。ただし、2024年のドライバーの労働条件規制等による車両不足が心配される状況である。
	□	経営コンサルタント	・今春の賃上げの動きが中小企業にも着実に広がることが確認できれば、個人消費が促され、企業の生産活動も良い方向に動き出す。
	□	社会保険労務士	・インバウンド消費の恩恵が余りないため、しばらくは現状が続くのではないかと。
	▲	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・2月、3月から計画どおりに減産となる。今のところ、減産の期間や数量に変更はないものの、期間の延長や数量が増える懸念がある。来月からの先行きは、かなり不透明である。
	▲	建設業（総務担当）	・工事量が足りない。補正予算に期待するしかない。
	▲	金融業（営業担当）	・人件費や材料の価格高騰等で、資金繰りが厳しくなる企業が出てきている。
	▲	不動産業（管理担当）	・人手不足が一層深刻になってきそうだが、時給や賃金を更に引き上げなければ募集をしても応募がなく、対応できる業務が減って売上が減少する懸念がある。
	×	建設業（開発担当）	・今期も残り3か月だが、現状の当社受注額は10%減少と決算が心配である。
雇用 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	・観光地等のホテルや旅館等ではまだ人手不足である。ただし、外国人等も含めた観光地での散策等の人出は増えているので、徐々に求人も動いて伸びていくのではないかと。ガソリン価格も落ち着いているため、行楽需要に伴った衣料品やレジャー用品等も伸びていくとみている。年度末に向けて工事にも活発さが出ると思うので期待したい。
	○	学校〔専門学校〕（副校長）	・本校に在籍している留学生の状況からも分かるが、外国人による日本での消費が活発に行われており、今後もその傾向は継続されると考えられる。
	□	人材派遣会社（社員）	・2～3か月先も今と変わらず、周辺企業や経済の環境は良いとみているが、人口減少や人手不足もあり、当社では引き合いはあっても受注自体が難しい。今後、人材不足は悪化していくと予想するが、それは他の企業も同じ状況だと思うので、そういったところが不透明である。
	□	人材派遣会社（社員）	・物価高騰により管理コストが増大している。賃上げ要求をどこまで取引先に理解してもらえるかによって、今後の業績に影響を及ぼす。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・派遣社員の増員と減員の話が少ない状況は、変わらない。
	□	人材派遣会社（従業員）	・人材派遣の依頼がない状況は変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人数の前年同月比は、医療、福祉分野は増加傾向で推移しているものの、建設業、製造業では減少、増加を繰り返している。
	▲	*	*
	×	—	—